CAT EYE Cordless 7

サイクロコンピュータ
CC-FR7CL
J: 取扱説明書

Cordless 7

お使いの前にこの説明書を最後までよくお読みください。

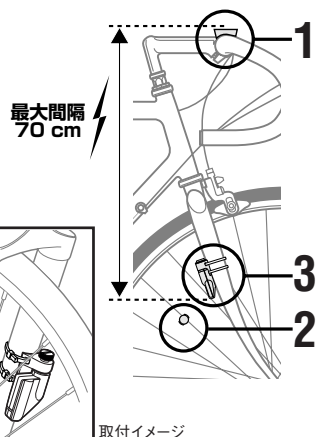
この製品の機能をよく理解された上でご使用ください。この説明書はお読みになった後も捨てずに、いつでも見られる状態で保管願います。

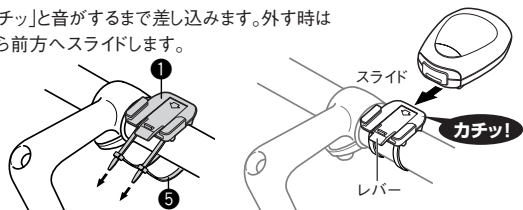
自転車への取付け

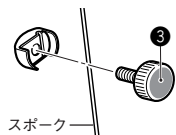
コンピュータ以外に次の部品が付属しています。
全て揃っているか取付前にご確認ください。

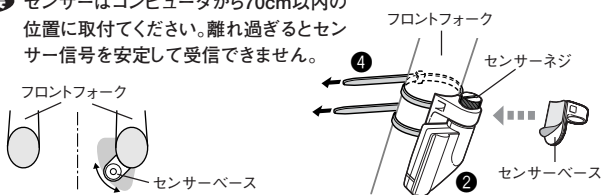
最大間隔 70 cm

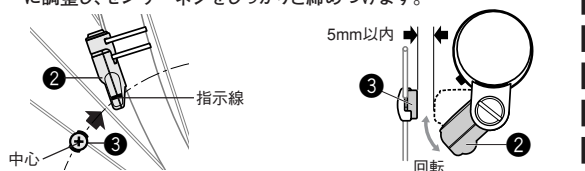
1
3
2

取付イメージ

1 ブラケットを取付けます

粘着テープで仮止めした後、ナイロンタイ（小）❺を強く引きしっかりと固定します。
コンピュータを「カチッ」と音がするまで差し込みます。外す時はレバーを押しながら前方へスライドします。

2 マグネットを取付けます

前輪のスポークにマグネット❸をマグネット面がセンサーに対面するように取付けます。

3 センサーを取付けて間隔を調整します

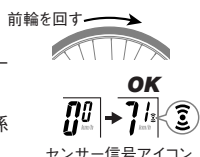
重要 センサーはコンピュータから70cm以内の位置に取付てください。離れ過ぎるとセンサー信号を安定して受信できません。

重要 前輪が回転したときマグネット❸の中心がセンサー❷の指示線を通過する位置に固定してください。

重要 センサーを回転させてマグネット❸とのすきまが5mm以内になるように調整し、センサーネジをしっかりと締めつけます。

4 動作テストをします

前輪を軽く回し、ブラケットに装着したコンピュータのセンサー信号アイコンが点滅するか確認します。

参 考 点滅しない時はマグネット❸とセンサー❷の位置関係を再度確認してください。

前輪を回す

センサー信号アイコン

警告

- 走行中はコンピュータに気を取られないで、安全走行を心掛けてください。
- マグネット・センサー・ブラケットはしっかりと自転車に取付け、定期的にガタやネジの緩みが無いか点検してください。
- 使用済みの電池は誤って飲み込まないように管理し、定められた方法で処理してください。

注意

- 炎天下の放置は避けてください。またコンピュータは分解しないでください。
- コンピュータや附属品を拭くときにシンナー、ベンジン、アルコール等は表面を傷めますので使わないでください。

コードレスについて

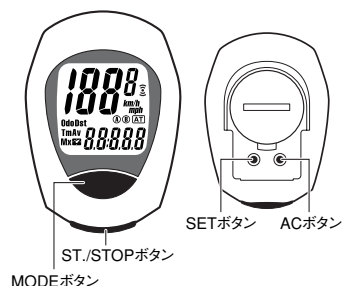
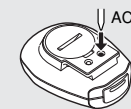
コードレス3のセンサーは車輪の回転信号をキャッチして送信し、コンピュータはその信号を受信してデータを計算・表示します。

重要 センサーの信号は混信を避けるため、限られた範囲しか受信しないように設計されており、センサーとコンピュータの間隔が離れ過ぎると受信できません。この範囲は気温の低下や、電池の消耗でも小さくなります。センサーはできるだけフォークの上部に取付け、センサーからコンピュータまでの距離を70cm以内にしてください。

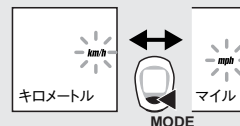
次のような場所や環境では干渉を受け、誤動作することがあります。
- 踏切や鉄道車両内。
- テレビ、パソコン、他のコードレス機器、一部のハイパワーランプの近く。
- 強力な電磁波の発生する場所。テレビの送信所、レーダー基地等。
- コードレスコンピュータを装着した自転車同士が、ハンドルすれすれまで近接した場合。

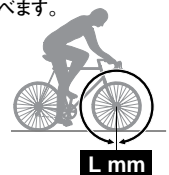
コンピュータの準備（初めて使うとき・電池交換した後）

1 オールクリアします

ACボタンを押してコンピュータを初期状態に戻します。安定した計測を行うため初めて使うときや電池交換した後に必ず行います。

2 計測単位を選択します

MODEボタンでキロかマイルか、計測する単位を選択します。

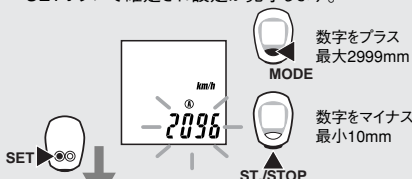
次のどちらかを選択します。
- 今まで使っていたメータの積算距離を引継ぐときはMODEボタンを2秒間押し続けます。続けて今までの積算距離を入力します。
- 積算距離を0からスタートさせる時はSETボタンを押します。

予めタイヤの周長（L mm）を調べます。

L mm

簡易的には **タイヤ周長ガイド** を活用してください。

タイヤサイズ	L(mm)
12 x1.75	935
14 x 1.50	1020
14 x 1.75	1055
16 x 1.50	1185
16 x 1.75	1195
18 x 1.50	1340
18 x 1.75	1350
20 x 1.75	1515
20 x 1-3/8	1615
22 x 1-3/8	1770
22 x 1-1/2	1785
24 x 1	1753
24 x 3/4Tubular	1785
24 x 1-1/8	1795
24 x 1-1/4	1905
24 x 1.75	1890
24 x 2.00	1925
24 x 2.125	1965
26 x 7/8	1920
26 x 1(59)	1913
26 x 1(65)	1952
26 x 1.25	1953
26 x 1-1/8	1970
26 x 1-3/8	2068
26 x 1-1/2	2100
26 x 1.40	2005
26 x 1.50	2010
26 x 1.75	2023
26 x 1.95	**2050**
26 x 2.00	2055
26 x 2.10	2068
26 x 2.125	2070
26 x 2.35	2083
26 x 3.00	2170
27 x 1	2155
27 x 1-1/8	2161
27 x 1-1/4	2161
27 x 1-3/8	2169
650 x 35A	2090
650 x 38A	2125
650 x 38B	2105
700 x 18C	2070
700 x 19C	2080
700 x 20C	2086
700 x 23C	**2096**
700 x 25C	2105
700 x 28C	2136
700 x 30C	2170
700 x 32C	2155
700C Tubular	2130
700 x 35C	2168
700 x 38C	2180
700 x 40C	2200

タイヤサイズは通常タイヤの側面に記載されています。

3 タイヤ周長をセット

自転車のタイヤ外周の長さをミリ単位でセットします。
参 考 右のタイヤ周長ガイドを活用すると便利です。
SETボタンで確定され設定が完了します。

準備完了（計測画面・走行距離へ）

※オートモードはオンの状態でセットされます

コンピュータの操作

選択（下段）データの切替え

MODEボタンを押すと選択データは右図（計測画面）の順に切替ります。どのデータからでも2秒間押し続けると時刻に変わります。

計測のスタート／ストップ

計測中は計測単位アイコン（Km/hまたはmph）が点滅します。積算距離と最高速度は計測の開始・停止にかかわらず更新されます。

●オートモード（自動計測）

画面にATアイコンが点灯しているときは計測を自動で行います。これをオートモードと呼び車輪の動きを検知して自動的に計測のスタートとストップを行います。（ATが点灯している時はST./STOPボタンで計測をスタート・ストップできません）

●手動計測

画面のATアイコンが消灯している時はST./STOPボタンを使って計測のスタートとストップをします。

ボタンを押すと走行時間・平均速度・走行距離の計測を開始し、もう一度押すと停止します。

●オートモードをオンまたはオフするには

選択データの走行距離（Dst）・走行時間（Tm）・平均速度（Av）のいずれかにして、裏面のSETボタンを押します。ATアイコンが点灯または消灯に切替ります。

走行距離、走行時間、最高速度、平均速度のリセット

積算距離（Odo）表示以外の時、MODEボタンとST./STOPボタンを同時に押すと、走行距離・走行時間・最高速度・平均速度のデータをゼロに戻します。積算距離はリセットされません。

MODE
ST./STOP

コンピュータの機能

●節電機能

節電モード ------ 10分間無信号状態が続くと時刻だけの節電状態になります。

スリープモード -- 2週間放置すると画面にSLEEPが表示されます。

起動 -------------- スリープモードから計測画面へ復帰させるにはMODEかST./STOPボタンのどちらかを押します。

●デュアルタイヤ周長

このコンピュータはⒶとⒷの2つのタイヤ周長が登録できます。

タイヤ周長ⒶとⒷは簡単に切替えができ、タイヤサイズが違う2台の自転車でコンピュータを共有できます。

Ⓑ周長は低速走行用にプログラムしてあり、MTBでの使用をおすすめします。

トラブルと処理

全く表示がでない。
　コンピュータの電池が消耗していませんか?
　新しい電池と交換し、オールクリアをしてください。

異常な表示がでる。
　オールクリアをしてください。（可能な場合はACボタンを押す前に積算距離（Odo）データを書き留め、計測単位選択後に手入力します）

ST./STOPボタンを押しても計測を開始しない。
　画面にATアイコンが点灯していませんか?
　ボタン操作で計測をスタート・ストップするにはオートモードをオフにしてください。

センサー信号アイコンが点滅しない。（スピード表示がでない）
（センサー信号アイコンが点滅しないとき、コンピュータをセンサーに近づけて前輪を回してみます。アイコンが点滅する場合は異常ではなく電池消耗などによる送信距離の問題です）
　センサーとマグネットの距離が離れすぎていませんか?（間隔5mm以内）
　センサーの指示線とマグネットの中心がずれていませんか?
　マグネット・センサーの位置を調整し直してください。
　コンピュータとセンサーの距離が離れすぎていませんか?（間隔70cm以内）
　センサーの取付位置をコンピュータに近づけてください。
　センサーの電池が消耗していませんか?　特に冬期は電池の能力が低下します。
　新しい電池と交換してください。
　コンピュータの電池が消耗していませんか?
　新しい電池と交換し、オールクリア操作をしてください。

メンテナンス

- コンピュータや附属品が汚れたら、薄い中性洗剤で湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。
- 押ボタンと本体の隙間に泥や小石がつまると、押ボタンが動きにくくなることがあります。水で軽く洗い流してください。

電池の交換

●コンピュータ

表示が薄くなってきたら電池の交換時期です。**積算距離を継続するときは必ず電池を取り出す前に現在の積算距離をメモしてください。**

- リチウム電池CR2032は十側が見えるように入れます。
- 交換後は「コンピュータの準備」の手順に従い、各設定を行ってください。

●センサー

センサー信号を受信しにくくなってきたら電池の交換時期です。電池交換後はマグネットとの位置関係を確認してください。

閉まる
開く

製品仕様

使用電池 ---------------------- コンピュータ（受信部）:　リチウム電池 (CR2032)×1個
　　　　　　　　　　　　センサー（送信部）:　リチウム電池 (CR2032)×1個
電池寿命 ---------------------- コンピュータ（受信部）:　約1年（1日に約1時間使用の場合）
　　　　　　　　　　　　センサー（送信部）:　積算距離で約10,000 km [6,250 mile]
　　　　　　　　　　　　※気温20℃でセンサー・コンピュータ間65cmに取付けた時の平均値
制御方式 ---------------------- 4-bit 1-chip マイクロコンピュータ（水晶発振器）
表示方式 ---------------------- 液晶表示
検知方式 ---------------------- 無接触磁気センサー
タイヤ周長セット範囲 -------- 10 mm ～ 2999 mm（初期値:A:2095 mm　B:2050 mm）
使用温度範囲 ---------------- 0℃～40℃（32℉～104℉）
寸法・重量（コンピュータ）--- 40 x 56.5 x 21mm / 30 g
＊あらかじめ装着されている電池はモニター用ですので電池寿命は短くなります。
＊仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

製品保証について

2年保証:コンピュータ/センサーのみ（付属品及び電池の消耗は除く）

正常な使用状態で万一故障した場合は無料で修理・交換いたします。お客様のお名前・ご住所・ご購入日・故障状態をご記入の上、製品と共に当社宛て直接お送りください。お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、当社より郵送にてお届けさせていただきます。

【宛先】　株式会社 キャットアイ　製品サービス課
〒546-0041　大阪市東住吉区桑津2丁目8番25号
TEL: (06)6719-6863ダイヤルイン　FAX: (06)6719-6033
ホームページ　http://www.cateye.co.jp
e-メール　support@cateye.co.jp

＊アクセサリーパーツを別途販売していますのでご利用ください。